

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

公共施設自動水栓化事業（事業番号1）

2 事業期間

令和3年4月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳		
役場庁舎（総務係）	736,234 円	一般財源	2,242 円
やすらぎの郷（福祉係）	2,035,000 円		
小中学校、記念館、教育会館（学校保育係）	4,842,200 円		
池田児童クラブ、会染児童センター（児童センター）	869,220 円	臨時交付金	10,862,000 円
池田保育園、会染保育園（学校保育係）	1,073,820 円		
多目的研修センター（公園スポーツ係）	438,768 円		
クラフトパーク、美術館（生涯学習係）	869,000 円		

4 事業概要

公共施設の水栓を自動化し、感染機会削減を図る。

5 実施状況

役場庁舎	5カ所	池田児童クラブ	7カ所
やすらぎの郷	19カ所	会染児童センター	6カ所
池田小学校	60カ所	池田保育園	11カ所
会染小学校	37カ所	会染保育園	8カ所
高瀬中学校	2カ所	多目的研修センター	4カ所
記念館	1カ所	クラフトパーク、美術館	7カ所
教育会館	2カ所		

6 検証方法

職員、来庁者、来館者等利用者からの聞き取り

7 検証結果

- ・蛇口に接することなく、手洗い等ができ、感染機会の防止が図られた。(総務係調査)
- ・不特定多数の高齢者、障害者が利用する施設において、水栓に接することなく手洗いができ、感染機会の防止が図られた。(福祉係調査)
- ・学校や不特定多数の来館者がある公共施設において、手洗いを非接触で使用できる自動水栓にすることにより、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ることができた。(学校保育係調査)
- ・異年齢児が利用する施設において、手洗いを非接触で使用できる自動水栓にすることにより新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ることができた。(学校保育係調査)
- ・蛇口に接することなく、手洗い等ができ、感染機会の防止が図られた。(生涯学習係、公園スポーツ係調査)

担当	総務課	総務係
	健康福祉課	福祉係
	学校保育課	学校保育係
	学校保育課	児童センター係
	生涯学習課	生涯学習係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田町中小企業事業継続支援給付金事業（事業番号2）

2 事業期間

令和3年4月～7月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,600,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	1,600,000 円

4 事業概要

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業収入が大きく減少している中小企業や個人事業者、農業事業者を対象に、事業の継続を下支えするための応援金を支給する。
 - ・令和2年分の事業収入の金額が、令和元年分の事業収入の金額の5割以上、かつ、10万円以上減少している場合に下記の率により計算する。
 - ・減少率が50%以上65%未満→ 上限10万円
 - ・減少率が65%以上80%未満→ 上限20万円
 - ・減少率が80%以上 → 上限30万円
- ※減少額が各段階の上限に満たない場合は、減少額を給付上限する。。

5 実施状況

申請件数：10件 給付総額：1,600,000円

6 検証方法

給付金事業（第1次～第3次）申請者総数の25%を目途に無作為抽出してアンケートを（事業No.10及び17と併せて）実施。支援金の使途、及び効果の有無について記入依頼。

7 検証結果

- ・回答率 46%
- ・支援金の使途 営業資金：57% 感染対策：14% 従業員給与：14% 融資返済等：14%
- ・事業の効果 大いにあった：57% 少しあった：43%
- ・意見など
 - ・収入が安定しない時に支援をいただきありがとうございます。
 - ・コロナによる影響から脱して安定するまで支援をいただければありがたい。

担当 振興課 商工観光係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

防災活動支援事業（事業番号3）

2 事業期間

令和3年6月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
5,997,240 円	一般財源	240 円
	臨時交付金	5,997,000 円

4 事業概要

コロナの影響を受けやすい集団生活となる避難所用に、各種防災用品として配付。

5 実施状況

ポータブル蓄電池10セット、エアベット138個は町内避難所用として配備している。

6 検証方法

実際の災害に備えた避難所運営訓練で町民に使用してもらい、その実用性を確認。

7 検証結果

蓄電池：災害時に避難所等の電源確保を行うことによって、非接触型体温計や換気用ファン等の電化製品が使えるようになった。また、電源を避難者のスマホ充電に供することでネットを利用した速やかでかつ密接を回避した（掲示板だと閲覧者が密接）情報伝達を可能にすることができるようになった。また、エンジン式に比べ、静かで空気も汚さず、太陽光発電パネルも装備していることから昼夜を問わずでき、よりコロナの感染拡大防止に効果があることが認められた。

ベット：避難者を収容する場所を拡大（畳張りだけでなく板張りやコンクリート床も対象となる）でき密集を回避できることが確認できた。また、折り畳めることから保管がしやすく、段ボールベットと比較すると壊れにくく繰り返しの使用が容易であるため長期的な利用が望める。

令和4年9月30日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

移住 PR 事業（事業番号 4）

2 事業期間

令和3年8月～令和3年10月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
550,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	550,000 円

4 事業概要

密回避が難しい都市部での生活者が当町へ移住することにより都市部での密を回避し、また、当町がリビングシフトの受け皿となって厚労省の提唱する「新しい生活様式」による「働き方の新しいスタイル」を実現し、移住者を呼び込むため、町の移住 CM を動画配信サービス（TVer 等）で配信した。

5 実施状況

TVer、GYAO 等の番組内の CM 枠で配信した。
配信に伴いクリックで町ホームページへ遷移できるようにした。

6 検証方法

配信数と配信に伴う町ホームページの閲覧数を確認

7 検証結果

配信数：60,104 回
配信に伴う町ホームページの閲覧数：156 人
上記の人に町の移住 CM を届けることができた。

担当 総務課移住定住係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

教室消毒支援事業（学校保育係分）（事業番号5）

2 事業期間

令和3年5月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,918,388 円	一般財源	388 円
	臨時交付金	1,918,000 円

4 事業概要

小中学校において、クラスが入れ替わりで授業を受ける教室等においてクラス間での感染拡大を防止するため、時限単位で教室の消毒・清掃作業を行ったり、感染症対策に伴い必要な諸業務（児童・生徒・職員の検温チェック、廊下の換気等）の支援を行う人員を配置した。

5 実施状況

支援員配置（8名）に係る経費

清掃・消毒業務委託料 委託料 1時間 929円×2,065時間

6 検証方法

各校長・教頭及び養護教諭に聞き取りにより検証を実施。

7 検証結果

校内の消毒・換気や検温をはじめとした児童生徒の健康観察の取りまとめなど、配置校において感染拡大の防止及び安全安心な教育活動が実践でき、最大限に効果があった。

担当 学校保育課学校保育係

令和5年2月28日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

ハーブセンタートイレの感染防止対策事業（事業番号6）

2 事業期間

令和3年6月～令和4年2月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
17,998,200 円	一般財源	200 円
	臨時交付金	17,998,000 円

4 事業概要

来場者の多いハーブセンターのトイレを改修するとともに、手洗い水洗を自動化することにより、感染機会削減を図る。

5 実施状況

トイレの改修 17,998,200 円

6 検証方法

担当者による現場視察

7 検証結果

蛇口に接することなく、手洗い等ができ、感染機会の防止が図られた。
また、シートクリーナーを備え付けることで、感染防止が図られた。
当該地でのコロナ感染の報告は上がっていない。

担当 振興課農政係

令和5年2月28日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

感染防止配慮型レジシステム導入事業（事業番号7）

2 事業期間

令和3年5月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
696,700 円	一般財源	100,700 円
	臨時交付金	596,000 円

4 事業概要

感染機会の削減を図るために、キャッシュレスの電子決済に対応したレジシステムの導入をおこなう。

5 実施状況

電子決済に対応するレジシステムの導入

6 検証方法

レジシステムの利用実績および管理者への聞き取り

7 検証結果

導入以降のレジ利用者 9,933 件 うちキャッシュレス利用 14 件
キャッシュレス利用件数は少なかったが、商品のバーコード化による非接触対応を進めることができ、感染防止に貢献した。

職員・来館者の感染拡大は発生しておらず、一定の効果があったと考えられる。

担当 生涯学習課生涯学習係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

インフルエンザワクチン接種助成事業（事業番号8）

2 事業期間

令和3年9月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
8,746,309 円	一般財源	309 円
	臨時交付金	8,746,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルスが猛威を振るう時期と同じ時期に流行すると思われるインフルエンザに対する予防接種補助を行うことによって発熱患者の発生及び重症化を抑え、医療機関等における混乱を抑える。

接種しやすい環境づくりのために、県や大北医師会、医師会未加入医療機関、老人保健施設等と委託契約を結び、本人からの申請なくして接種出来るようする。また、委託契約外の医療機関で接種した場合には個人への補助金として給付をする。

5 実施状況

高齢者及び60歳以上の心・肺・腎障害者のインフルエンザワクチン接種費用の一部補助を実施

① 接種対象者数と実施率

接種年度	対象者数	接種者数	接種率
R3	3,825 人	2,380 人	62.2%
R2	3,796 人	2,710 人	71.4%

6 検証方法

接種率で確認

7 検証結果

令和2年度から令和3年度にかけて接種率は9.2%の減少してしまっていたが、令和元年度の接種率は59.9%であったことを踏まえると比較的高い接種率であった。よって高齢者等を中心に今回の事業で感染拡大予防に効果があったといえる。

担当 健康福祉課健康増進係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

水道料金軽減事業（事業番号9）

2 事業期間

令和3年7月～令和3年12月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
29,191,370 円	一般財源	310,370 円
	臨時交付金	28,881,000 円

4 事業概要

町民の暮らしを幅広く支援するための施策として水道利用全家庭の基本料を減免するため、水道事業者を利用件数分の基本料を支払った。

5 実施状況

延べ16,570件の水道利用者の基本料金及び料金システム改修費用を水道事業者に支払った。

6 検証方法

水道事業者からの聞き取りを実施。

7 検証結果

生活費に困窮している世帯における滞納が該当の4か月間は無かった。
各世帯への支援として現金（商品券）の配布よりも間接的ではあるが、費用対効果は高い事業である。

担当 振興課水道係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田町中小企業事業継続支援給付金事業（第2次）（事業番号10）

2 事業期間

令和3年8月～10月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
12,963,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	12,963,000 円

4 事業概要

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業収入が大きく減少している中小企業や個人事業者、農業事業者を対象に、事業の継続を下支えするための応援金を支給する。
- ・令和3年の1月から6月の売上が、令和元年または令和2年の同時期の売上合計から2割以上減少している場合に、その差額を支給額とする。ただし上限は15万円とする。

5 実施状況

申請件数：87件 給付総額：12,963,000円

6 検証方法

給付金事業（第1次～第3次）申請者総数の25%を目途に無作為抽出してアンケートを（事業No.10及び17と併せて）実施。支援金の使途、及び効果の有無について記入依頼。

7 検証結果

- ・回答率 46%
- ・支援金の使途 営業資金：57% 感染対策：14% 従業員給与：14% 融資返済等：14%
- ・事業の効果 大いにあった：57% 少しあった：43%
- ・意見など
 - ・収入が安定しない時に支援をいただきありがとうございます。
 - ・コロナによる影響から脱して安定するまで支援をいただければありがたい。

担当 振興課 商工観光係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

感染拡大防止体制整備事業（事業番号 11）

2 事業期間

令和3年5月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
（学校保育係） 1,122,000 円	一般財源	320 円
（生涯学習係） 309,320 円	臨時交付金	1,431,000 円
合計 1,431,320 円		

4 事業概要

教育関係施設におけるコロナ感染症防止のため、必要な消毒用品等を配置した。

5 実施状況

アルコールディスペンサー 池田小2台 会染小2台 記念館1台

サーモマネージャー 池田小6台 会染小3台 高瀬中3台 記念館1台

パーテーション（保健室間仕切り用） 会染小2式

衛生ロールシート 各校2巻 計6巻

アクリルパーテーション 設置施設：交流センター（貸部屋、フリースペース、事務室）、創造館（事務室、ホール）、役場応接机、池田小学校（職員室）、高瀬中学校（職員室）

6 検証方法

各校校長・教頭及び養護教諭、施設管理者に聞き取り。

7 検証結果

- ・手をかざすだけで自動で手指消毒ができるアルコールディスペンサーは、容器に触れずに噴霧できるので十分な感染予防ができた。
- ・パーテーションは飛沫感染による感染リスクの軽減が図れた。
- ・サーモマネージャーを配備したことにより、登校時や来館時に感染が疑われる人への注意喚起が可能となり、校内や館内での感染拡大を防止することができた。
- ・衛生ロールシートは保健室のベッドの上などに敷いて使える使い捨てシートで、感染症対策を徹底できた。
- ・アクリルパーテーションは各施設利用者も積極的に使用し感染拡大防止に役立った。また、視覚的にも効果があり、感染拡大防止のための意識向上に役立った。設置場所をクラスターとする感染は無かったため予防効果があったと考えられる。

担当 学校保育課学校保育係
生涯学習課生涯学習係

令和5年2月28日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

修学旅行取消料補助事業（事業番号 12）

2 事業期間

令和3年8月～令和4年1月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
252,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	252,000 円

4 事業概要

中学校修学旅行のコロナ影響による中止や変更に伴う取消料（キャンセル料）を全額補助し、保護者の経済的な負担軽減を図った

5 実施状況

修学旅行取消料 生徒 70 人分×3,600 円=252,000 円

6 検証方法

各校長・教頭、保護者に聞き取りにより検証を実施。

7 検証結果

家庭に生じるはずであった修学旅行のキャンセル料を町で負担することにより、保護者の負担を軽減することができた。

担当 学校保育課学校保育係

令和5年2月28日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

GIGA スクール推進事業1（事業番号13）

2 事業期間

令和3年8月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
2,989,800 円	一般財源	800 円
	臨時交付金	2,989,000 円

4 事業概要

コロナ感染症拡大防止のため、オンライン授業を行う際に家庭でも町貸与の端末が使えるよう、小中学生に貸与するための電源アダプターを購入し、GIGA スクール構想を推進させる。

5 実施状況

電源アダプター購入費用 $3,960 \text{ 円} \times 755 \text{ 個（総端末数）} = 2,989,800 \text{ 円}$

6 検証方法

各校長・教頭、児童生徒に聞き取りにより検証を実施。

7 検証結果

貸し出し用の充電器を準備することにより、自宅にタブレットの充電環境がない児童生徒についても十分に端末を使用することができるようになり、感染拡大防止のためのオンライン学習の実施に効果的であった。

担当 学校保育課学校保育係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

GIGA スクール推進事業2（事業番号14）

2 事業期間

令和3年7月～令和3年10月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
990,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	990,000 円

4 事業概要

夏休み明けの二学期から GIGA スクール推進がさらにできるよう、コロナ感染症拡大防止を図るオンライン授業や臨時休校期間中に切れ目のない学習環境を提供するため、遠隔学習連絡環境の強化を図った。また、学校と家庭の情報共有のための教育委員会ポータルサイトを作成した。

5 実施状況（業務委託による事業実施）

①オンライン学習連絡環境構築業務

- ・ Google フォームを使った家庭からの連絡環境の整備
- ・ Google For Education プラットフォームの整備
- ・ 問い合わせ対応用 Google グループ機能を設置（児童・生徒用）

②教育委員会ポータルサイト構築

- ・ 小学校2校 中学校1校 保育園2園 教育委員会事務局 計6件

③運用サポート

- ・ 小中の先生方及び児童生徒に対する個別サポートサービス。教職向け運用研修や保護者向けの GIGA 端末接続設定を実施した

6 検証方法

各校長・教頭、児童生徒、保護者に聞き取りにより検証を実施。

7 検証結果

GIGA スクール構想の早期実現に併せ、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時でも、ICT の活用により子どもたちの学びを保障できる環境を整備することができた。また、教育委員会及び町立の保育園・小学校・中学校各校で、コロナ禍においても ICT 利活用による情報伝達を効率よく行うための作業強化が図れた。遠隔教育の推進に向けた基礎となる事業であり、非常に効果的であった。

担当 学校保育課学校保育係

令和4年8月31日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

学生応援臨時給付金（事業番号 15）

2 事業期間

令和3年7月～令和3年12月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,709,064 円	一般財源	64 円
	臨時交付金	1,709,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染防止により、アルバイト収入の減少や帰省自粛などの影響を受けている学生の皆さんを応援するための臨時一時金の支給。

5 実施状況

申請者 168 名に現金 1 万円を支給した。

6 検証方法

申請者数により、多くの対象者を応援できたかを確認。(成果)申請者数 168 名
支給処理回数により、速やかに応援できたかを確認。(成果)支給処理 9 回

7 検証結果

学生 168 名に対し速やかに支給することができ、困難な状況にある学生の皆さんを応援できた。

担当 住民課保険医療係

令和5年3月15日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

防災活動支援事業（事業番号 16）

2 事業期間

令和3年7月～令和3年10月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
681,791 円	一般財源	791 円
	臨時交付金	681,000 円

4 事業概要

災害時に避難者へ衛生用品を配布することによって衛生的な避難環境を整え、新型コロナなどの感染症まん延防止を図る。また、衛生用品を十分用意することで、どこの避難所でも需要者を受け入れられるため、避難者の密集の回避を図ることができる

5 実施状況

おむつ（乳幼児用約 4,200 枚、大人用 2,300 枚）、生理用品 11,160 枚を備蓄した。

6 検証方法

担当者による検収

7 検証結果

紙おむつや生理用品の備蓄により、災害時により衛生的な避難環境を整えることができ新型コロナなどの感染症まん延を防止できるようになった。また、衛生用品を十分用意できたことで、どこの避難所でも需要者を受け入れられ、避難者の密集を回避できるようになった。

担当 総務課危機管理対策室

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田町中小企業事業継続支援給付金事業（第3次）（事業番号17）

2 事業期間

令和3年11月～12月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
14,511,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	9,911,000 円
	県補助金	4,600,000 円

4 事業概要

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業収入が大きく減少している中小企業や個人事業者、農業事業者を対象に、事業の継続を下支えするための応援金を支給する。
- ・令和3年の7月から9月の売上が、令和元年または令和2年の同時期の売上合計から2割以上減少している場合に、その差額を支給額とする。ただし上限は15万円とする。

5 実施状況

申請件数：111件 給付総額：14,511,000円

6 検証方法

給付金事業（第1次～第3次）申請者総数の25%を目途に無作為抽出してアンケートを（事業No.10及び17と併せて）実施。支援金の使途、及び効果の有無について記入依頼。

7 検証結果

- ・回答率 46%
- ・支援金の使途 営業資金：57% 感染対策：14% 従業員給与：14% 融資返済等：14%
- ・事業の効果 大いにあった：57% 少しあった：43%
- ・意見など
 - ・収入が安定しない時に支援をいただきありがとうございます。
 - ・コロナによる影響から脱して安定するまで支援をいただければありがたい。

担当 振興課 商工観光係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

指定管理者支援金事業（事業番号18）

2 事業期間

令和3年11月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,200,000 円	一般財源	393,000 円
	臨時交付金	807,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大による観光客減少により、経営に影響を受けている池田町ハーブセンターの指定管理者に対し、施設使用料12ヶ月分の1/3を補助。

5 実施状況

使用料 30 万円×12 ヶ月×1/3（対象月：令和3年4月～令和4年3月分）

6 検証方法

指定管理者より聞き取り。

7 検証結果

- ・支援金の交付を受けたことにより、事業運営の面で助かっている。
- ・コロナの影響は強く、観光客や売上げの減少はまだ続いている。引き続き支援をお願いしたい。

令和4年5月24日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

感染拡大防止体制整備事業2（事業番号19）

2 事業期間

令和4年1月～令和4年2月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,752,806 円	一般財源	1,806 円
	臨時交付金	1,751,000 円

4 事業概要

感染拡大防止体制整備のため、必要な物品を購入した。

5 実施状況

小中学校保育園等公共施設や町内避難所に消毒液、ゴム手袋、手洗い石鹸、防疫エプロン等を設置。

6 検証方法

設置対象施設から10人を無作為抽出し聞き取り。

7 検証結果

特に子どもが利用する施設では毎日広範囲で消毒を行い、感染拡大防止につながった。手洗い石鹸も大人数の職員、子どもが使用し感染拡大防止の役に立った。

（感想まとめ）

担当 学校保育課 学校保育係
健康福祉課 健康増進係

令和4年12月23日

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田保育園エアコン設置事業（事業番号 20）

2 事業期間

令和3年12月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
5,626,500 円	一般財源	500 円
	臨時交付金	5,626,000 円

4 事業概要

認定こども園にエアコンを設置することによって気温の厳しい時期でも活動出来る部屋を増やし園児の密集を避けコロナの感染リスクを下げる

5 実施状況

池田保育園の保育室4部屋に天井埋込カセット形エアコンを設置した。

6 検証方法

認定こども園池田保育園27人中10人を無作為抽出し聞き取り

7 検証結果

エアコン設置前は夏期に昼寝をする際、エアコンがある遊戯室、未満児室に集まって行っていた。しかし子どもと子どもの間隔が取れず、感染防止が十分に出来なかった。本事業により保育室各部屋にエアコンを設置することで、密にならない体制を取ることが出来る。(感想まとめ)

担当 学校保育課 学校保育係

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

住宅リフォーム促進事業（事業番号21）

2 事業期間

令和3年4月～令和4年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
3,349,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	3,349,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、発注が減少している建設・建築事業者を支援するため、町内の事業者により実施されるリフォーム工事に補助金の給付を行う。

20万円以上の工事を実施する場合に、費用の10%を補助。上限10万円。

5 実施状況

申請件数 42 件 給付総額 3,349,000 円

6 検証方法

リフォーム工事を請け負った事業者から若干名を抽出してアンケートを実施。

受注件数や補助率等について記入依頼。

7 検証結果

・回答率	100%		
・受注件数	大きく増えた 0%	少し増えた 67%	増えなかった：33%
・補助率・補助上限	適切だった 0%	補助率が低い 67%	上限額が低い：33%

担当 振興課 商工観光係